



2012年2月

各 位

一般社団法人  
日本バンディ連盟  
会長 高村 博正

BANDY World Championship 2012  
(バンディ世界選手権 2012 カザフスタン大会)  
大会報告

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、2012年1月29日から2月5日までの期間、カザフスタン共和国 Almaty (アルマティ) において開催されたバンディ世界選手権 2012 に、日本バンディ史上、初めて日本代表チームを派遣いたしました。その結果、日本はCグループ5試合を行い3勝1敗1分という戦績を収め、Cグループ準優勝で銀メダルを獲得することができました。

これも偏に、皆様のお力添えによるものと感謝申し上げます次第です。

略儀ながら、別紙のとおり、御報告申し上げますとともに御礼申し上げます。

今後は、「バンディ」の認知向上ならびに普及活動に積極的に取り組み、2013年世界選手権大会に向けて日本代表チームのレベルアップに鋭意邁進する所存であります。

今後とも、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社のますますの御発展をお祈り申し上げます。

敬具

日本バンディ連盟 広報担当 井坂博一  
E-mail : hiro.isaka26@gmail.com  
mobile : 080-4234-0988



JAPAN BANDY  
FEDERATION

---

BANDY World Championship 2012  
(バンディ世界選手権 2012 カザフスタン大会)

大会報告

2012年2月

日本バンディ連盟

## 1. 大会概要

### (1) 参加国 (14 か国)

Aグループ : Russia, Sweden, Kazakhstan, Finland, Norway, USA

Bグループ : Belarus, Canada, Hungary, Netherlands, Latvia

Cグループ : Estonia, Japan, Kirghiz

### (2) 開催期間・開催地

2012.1.29~2012.2.5 アルマティ (カザフスタン)

## 2. 大会結果

Aグループ		Bグループ		Cグループ	
第1位	Sweden	第1位	Belarus	第1位	Estonia
第2位	Russia	第2位	Canada	第2位	Japan
第3位	Kazakhstan	第3位	Hungary	第3位	Kirghiz
第4位	Finland	第4位	Latvia		
第5位	Norway	第5位	Netherlands		
第6位	USA				

(Bグループ Belarus はAグループへ、Cグループ Estonia はBグループへ、それぞれ昇格)

## 3. 日本チーム試合記録

### (1) 第1戦 (2012.1.31 9:30 開始 Reserve rink of Central Stadium)

●日本 2 - 6 エストニアO

#### Goal

30:55 #24 石岡 仁

56:39 #17 栗林 周次 (Assist #13 寺島 裕二)





(2) 第2戦 (2012.2.01 9:30開始 Reserve rink of Central Stadium)

○日本 13 - 0 キルギス●

Goal

08:34	#18	石岡 元	(Assist #17 栗林 周次)
10:41	#10	大谷 賢司	
12:30	#18	石岡 元	
15:43	#17	栗林 周次	
21:25	#17	栗林 周次	
23:33	#16	藍原 弘典	
24:21	#18	石岡 元	
31:36	#66	川口 真吾	(Assist #66 川口 真吾)
35:15	#17	栗林 周次	(Assist #27 佐々木 章人)
37:17	#18	石岡 元	
39:00	#18	石岡 元	
45:27	#15	高倉 勝喜	
52:27	#18	石岡 元	





(3) 第3戦 (2012.2.02 9:30開始 Reserve rink of Central Stadium)

△日本 2 - 2 エストニア△

Goal

23:37	#18	石岡 元	(Assist #10 大谷 賢司)
24:31	#13	寺島 裕二	(Assist #17 栗林 周次)



(4) 第4戦 (2012.2.02 16:30開始 Reserve rink of Central Stadium)

○日本 8 - 0 キルギス●

Goal

10:31	#16	藍原 弘典	
12:29	#17	栗林 周次	(Assist #18 石岡 元)
17:46	#66	川口 真吾	
31:44	#66	川口 真吾	
42:26	#18	石岡 元	
45:27	#66	川口 真吾	(Assist #17 栗林 周次)
46:12	#18	石岡 元	
58:49	#17	栗林 周次	(Assist #13 寺島 裕二)





(5) Cグループ2-3位決定戦 (※TV 放映あり)

(2012/02/04 10:00 開始 High-latitude rink “Medeu”)

○日本 4 - 0 キルギス●

Goal

09:50 #18 石岡 元 (Assist #15 高倉 勝喜)  
 18:37 #17 栗林 周次  
 26:09 #18 石岡 元 (Assist #17 栗林 周次)  
 52:13 #18 石岡 元



(6) Goal・Assist 結果

Goal			Assist		
#18	石岡 元	12	#17	栗林 周次	4
#17	栗林 周次	7	#13	寺島 裕二	2
#66	川口 真吾	4	#10	大谷 賢司	1
#16	藍原 弘典	2	#15	高倉 勝喜	1
#10	大谷 賢司	1	#18	石岡 元	1
#13	寺島 裕二	1	#27	佐々木 章人	1
#15	高倉 勝喜	1	#66	川口 真吾	1
#18	石岡 仁	1			
総計 29			総計 11		

#### 4. 日本の評価

(1) B・Cグループ表彰式 日本チームを「excellent play !」と紹介

(2) Cグループ最優秀選手（FW、DF）を日本チームが独占！

FW：石岡 元、DF：石岡 仁

(3) 国際バンディ連盟（以下FIB）をはじめとする大会関係者からは、試合内容もさることながら、発足後の短期間で、世界選手権で勝ち上がるチームを派遣したことに対して高い評価をいただきました。今回の初出場において、日本チームのプレー・戦術から「日本」の技術的な潜在能力、日本バンディ連盟（以下JB）の組織運営力の高さが評価され、今後の世界におけるバンディの普及においても重要な役割を果たすパートナーとして認められました。



Cグループ最優秀選手(左から)  
FW:石岡 元(日本)、DF:石岡 仁(日本)  
(※Cグループ準優勝の日本が独占)



## 5. バンディ世界選手権 2012 日本選手団

団 長：岡田 幸明  
副 団 長：志水 隆一, 井坂 博一  
監督／主将：石岡 元  
ス タ ッ フ：藍原 暁子, 千葉 智紹

背番号	氏 名	ポジション	所 属
23	岡田 幸明	MF	医療法人幸歯会岡田歯科医院
18	石岡 元	MF	有限会社シグ・スポーツ・プロジェクト
24	石岡 仁	DF	有限会社シグ・スポーツ・プロジェクト
3	石岡 男	FW	釧路蒲鉾工業協同組合
14	高倉 浩一	MF	伊藤忠商事株式会社
15	高倉 勝喜	MF	東京都立三田高等学校
38	志水 隆一	MF	公益財団法人都市活力研究所
26	井坂 博一	MF	株式会社阪急リテールズ
12	宅野 六朗	MF	医療法人榊原クリニック
31	前田 将昭	DF	学校法人大阪医科大学
16	藍原 弘典	DF	パナソニック株式会社
34	服部 直記	MF	三菱地所レジデンス株式会社
13	寺島 裕二	FW	サーティーンスポーツ
1	田中 智志	GK	株式会社パティネレジャー
17	栗林 周次	FW	株式会社ポータス
66	川口 真吾	MF	株式会社阿部新聞店
10	大谷 賢司	MF	愛媛パッケージ株式会社
27	佐々木 章人	MF	大王製紙株式会社
33	諏訪 太一	GK	関西大学



 <p>#23 岡田 幸明</p>	 <p>#38 志水 隆一</p>	 <p>#26 井坂 博一</p>
 <p>#12 宅野 六郎</p>	 <p>#18 石岡 元</p>	 <p>#24 石岡 仁</p>
 <p>#14 高倉 浩一</p>	 <p>#31 前田 将昭</p>	 <p>#16 藍原 弘典</p>
 <p>#17 栗林 周次</p>	 <p>#13 寺島 裕二</p>	 <p>#1 田中 智志</p>
 <p>#34 服部 直記</p>	 <p>#66 川口 真吾</p>	 <p>#3 石岡 男</p>
 <p>#33 譚訪 太一</p>	 <p>#27 佐々木 章人</p>	 <p>#10 大谷 賢司</p>
 <p>#15 高倉 勝喜</p>	 <p>Staff 千葉 智紹</p>	 <p>Staff 藍原 暁子</p>



## 6. 最後に

日本は、日本バンディ界で初の国際大会として、今大会に参加をいたしました。

Cグループ優勝は惜しくも逃しましたが、Bグループへ昇格したエストニアとも互角に戦っての準優勝、さらに連盟発足後から短期間で代表チームを編成し派遣した日本バンディ連盟に対して、FIBをはじめ関係各国からは、今後の可能性も含め高い評価を得ることができました。

大会期間中、初出場の日本のプレーぶりは各国の注目を集めておりましたし、今回の戦績により、次大会以降、Cグループ各国をはじめ、Bグループ各国も対日本戦を視野に入れて準備を進めてくることと考えられます。

こうしたすべての成果は、偏に協賛いただいた各社、賛助会員の皆様をはじめとして応援いただいたすべての皆様のお陰です。

これからは、この成果に慢心することなく、さらに日本におけるバンディの普及活動に注力しながら、世界大会への出場を通じて競技力の向上を図り、世界における日本バンディの存在感を高めてまいります。また、FIBとの関係を強化し連携しながら、世界におけるバンディ競技の普及と冬季オリンピックへのバンディ競技の採用を目指してまいります。

このたびは、誠にありがとうございました。

日本バンディ連盟・副会長  
日本選手団 団長 岡田 幸明

